

郡山市職員安全衛生委員会の取り組み



2024年10月 月例市長記者会見
配布資料 2 総務部職員厚生課

1 2024(令和6)年度ストレスチェック結果

労働安全衛生法第66条の10の規定により、職員一人ひとりが自らのストレス状況に気づき、ストレス軽減につなげるため『ストレスチェック』を実施しました。

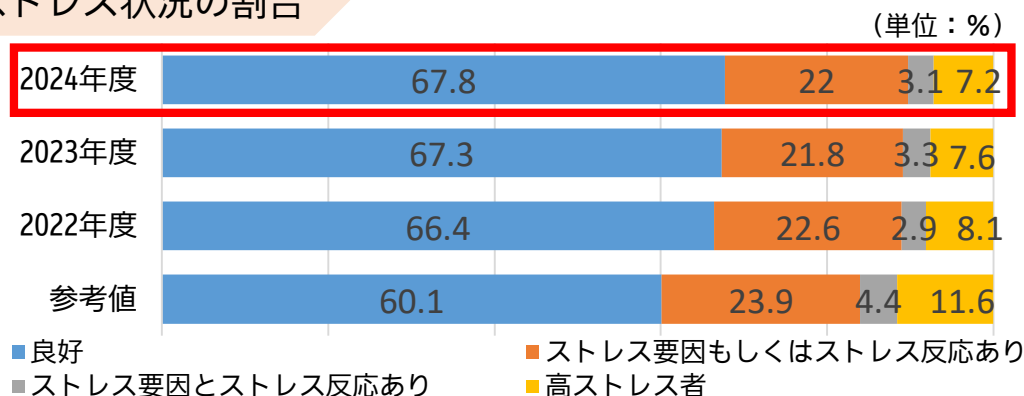
受検者

- ✓ 対象者 / 正職員、再任用職員、会計年度任用職員(60日以上雇用)
- ✓ 実施期間 / 2024(令和6)年5月23日～6月13日

	対象者 (人)	未受検者 (人)	受検率	有効 回答数	無効 回答数	有効 回答率
2024年度	3,367	19	99.4%	3,344	4	99.9%
2023年度	3,739	12	99.7%	3,690	37	99.0%
2022年度	3,688	125	96.6%	3,531	32	99.1%
参考値※	14,776	386	97.4%	14,144	246	98.3%

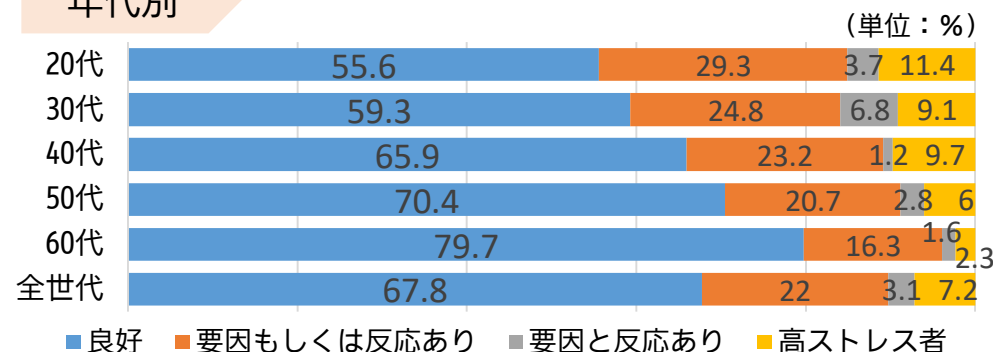
※参考値＝2023(令和5)年度行政機関平均(県内9市9町7村4広域消防)
受託事業者の前年度実績より、類似業種の数値を設定

ストレス状況の割合

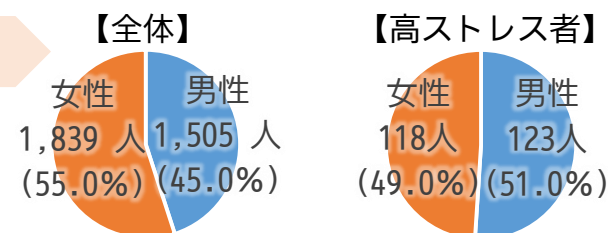


※参考値＝2023(令和5)年度行政機関平均(県内9市9町7村4広域消防)
受託事業者の前年度実績より、類似業種の数値を設定

年代別



男女別



今後の対応/委員からの意見

《今後の対応》

- 高ストレス者への医師の面接指導(個別)
- 所属長向け分析結果活用研究会の実施(集団)

《委員からの意見》

- 20代委員より
20、30代のストレス緩和策として、係単位のミーティングや同世代と交流できる機会の確保が有効と考える。
- 山本産業医より
ストレスチェックの結果は良好なので、今後は良好な結果が続いている所属の取り組みを参考にしながら働きやすい職場環境の維持に努めてほしい。



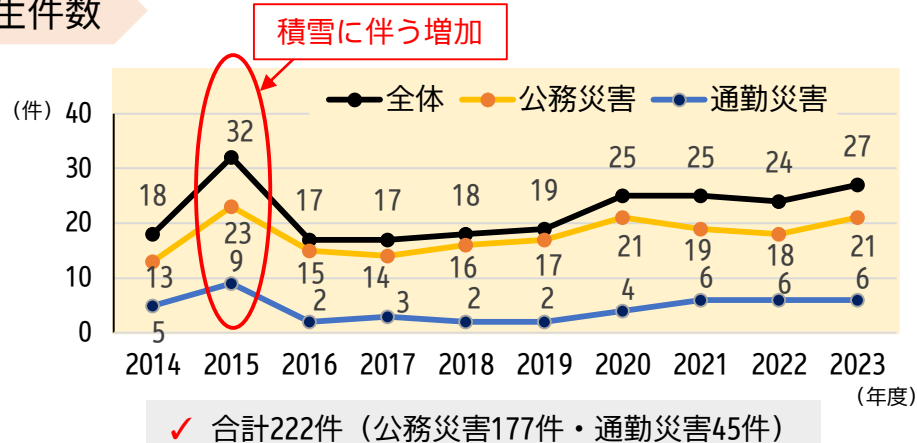
郡山市職員安全衛生委員会の取り組み



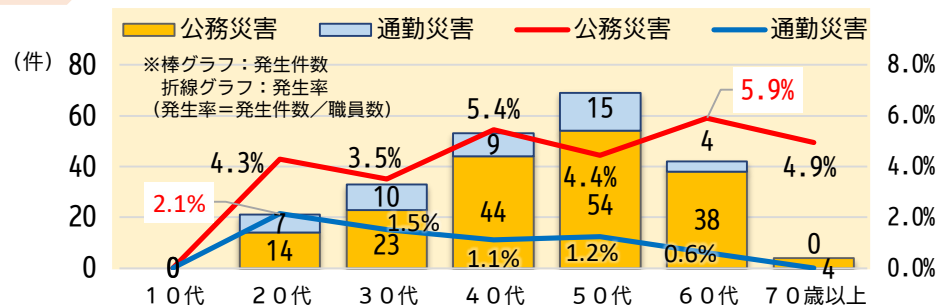
2024年10月 月例市長記者会見
配布資料 2 総務部職員厚生課

2 過去10年間における職員の公務及び通勤災害の状況 ～ 2014(平成26)年4月から2024(令和6)年3月まで ～

発生件数



年代別



通勤方法別

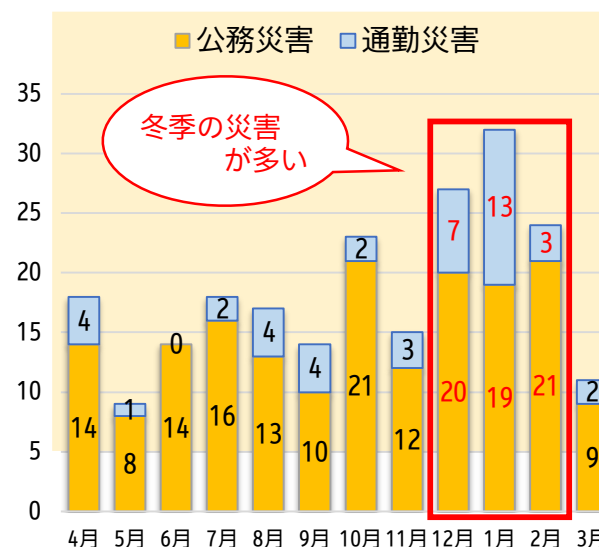
自転車事故の
注意点



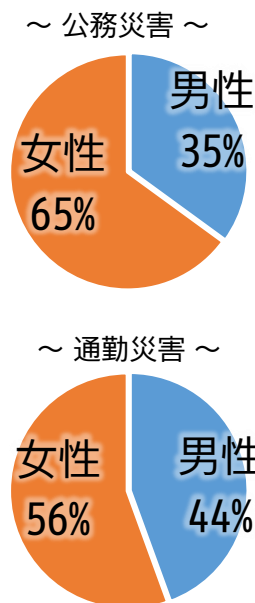
- ✓ 車道が原則、歩道は例外
- ✓ 一時停止等、交通ルールの遵守

- ✓ ヘルメットの着用
- ✓ 日頃から点検（整備）

月別



男女別



発生防止策

過去10年間の発生状況をもとに、次の公務、通勤災害の防止に向けた対策を進める。

- 公務、通勤災害ともに増加傾向 ⇒ 全職員に発生防止の周知・啓発
- 冬季の災害発生の件数が多い。 ⇒ 冬季時期前に通知等により呼びかけ
- 自転車による通勤災害が最も多い。 ⇒ ヘルメットの着用や交通ルールの順守を促す。
- 年齢の上昇とともに発生率が高い。 ⇒ 日常のストレッチ(ラジオ体操)や体力向上を目的とした運動を促す。